

**平成 29 年度
運営に関する計画
中間総括**

大阪市立豊里小学校

大阪市立豊里小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○全国学力学習状況調査の結果は残念ながら算数・国語とも、大阪市平均を下回っており、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果も押しなべて低い。しかし、校内に大きな荒れはなく、児童は学校生活や学習に対する取り組みは真面目に一生懸命に取り組んでいる。

○児童質問紙やアンケートの結果から、自他の尊重や自尊心・自尊感情の成熟といった精神面、情緒面での未成熟さが顕著に表れている。そうした心の未成熟さが、学習や運動に対する取り組みにも大きく影響している。

○さまざまな取り組みを含め本校の学校運営に対して、保護者や地域は比較的高く評価してくれている。ただ、地域に対する帰属感は薄れ始め、それが地域の教育力の低下につながっている。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

○平成29年度～32年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年95%以上とする。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○平成32年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○毎年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0にする。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○毎年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、毎年前年度より減少させる。

(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

○年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を毎年前年度より向上させる。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成32年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

(施策2 道徳心・社会性の育成)

○平成32年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える保護者の割合を90%以上にする

(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成３２年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、いずれの学年も平成２８年度より向上させる。

（施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成３２年度の小学校学力経年調査における正答率３割以下の児童の割合を、いずれの学年も平成２８年度より向上させる。

（施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成３２年度の小学校学力経年調査における正答率７割以上の児童の割合を、いずれの学年も平成２８年度より向上させる。

（施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成３２年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を平成２８年度より向上させる。

（施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○平成３２年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を９０％以上にする。

（施策６ 国際社会において生き抜く力の育成）

○平成３２年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点で、大阪市平均を上回る。

（施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成）

○平成３２年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の２項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を９０％以上にする。

（施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成）

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上とする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 平成29年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)

学校園の年度目標

- 平成29年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を70%以上とする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を70%以上とする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)
- 平成29年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を75%以上にする。
(施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率3割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より向上させる。
(施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)
- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

学校園の年度目標

- 平成29年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策6 国際社会において生き抜く力の育成)
- 平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の児童アンケートにおける「普段の体育の授業の目標設定とふり返り」の2項目について、大阪市平均を上回る。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)
- 平成29年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の2項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。
(施策7 健康や体力を保持増進する力の育成)

大阪市立豊里小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・中間評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上とする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 75%以上にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 にする。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査において、不登校の児童の割合を、前年度より減少させる。 (施策 1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 70%以上とする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の校内調査における「将来の夢や希望を持っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 70%以上とする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「『豊里っ子宣言』を守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 75%以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「しっかりと清掃活動をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 75%以上にする。 (施策 2 道徳心・社会性の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える保護者の割合を 75%以上にする (施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
<div>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</div> <div>○ 『豊里っ子宣言』を中心に据え、児童にとって安全・安心な学校づくりのための取組を行う。</div> <div>指標 ○ 『豊里っ子宣言』の3つの目標を達成するために、学期毎に1つずつ目標達成のための重点期間を設け、取組を行う。</div> <div>○ 遅刻・不登校を減少させるため、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援・指導の方法を新たに策定し、全職員の共通理解のもとで働きかけが継続的に行われるようにする。</div>		B
<div>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</div> <div>○ 自他のちがいを認め、互いを大切にする気持ちや自己有用感を育むための児童中心の取組が多く行われるよう、計画・支援・実行していく。</div> <div>指標 ○ 学期1回以上のたてわり班での異学年交流を行う。</div> <div>○ 『豊里っ子宣言』が目指す学校づくりを行うための児童会活動・学級活動等の取組に、全児童が1回以上主体的に参加する。</div>		
<div>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</div> <div>○ 月ごとに美化目標を設定し、学級ごとに重点的に指導・実践していく。</div> <div>指標 美化委員会を中心に毎月美化目標を設定し、各学級に集会やポスターなどで呼びかける。</div>		B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の中間結果と分析		
<div><div>・ 『豊里っ子宣言』についての重点期間の取組は予定通り実施できている。各学級で、遅刻・不登校減少に向け、連絡・支援・指導を行った結果、改善がみられる。しかし、その方法についての全職員の共通理解は十分に図られているとはいえない。</div><div>・ 集会等も含め、たてわり班での異学年交流が行われている。児童が主体となった取組については、実施方法を含め検討する必要がある。</div><div>・ 美化委員会の呼びかけやポスター掲示、校内美化の定期的な評価などを通して意識が高まりつつある。</div></div>		
下半期への改善点		
<div><div>・ 遅刻・不登校減少に向けて学校全体として取組めるよう、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援・指導の方法を、全職員で共通理解できるような指針を策定していく必要がある。</div><div>・ たてわり班で行われる異学年交流を継続して行っていく。さらに、児童が主体となった取組みが計画的に行われるよう児童会を中心に取組んでいく必要がある。</div><div>・ 美化重点週間の時期と内容を検討していく必要がある。</div></div>		

大阪市立豊里小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・中間評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標 (小・中学校)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 3 割以下の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7 割以上の児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、「あてはまる (どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より向上させる。 (施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組)</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における合計得点の記録を、前年度より向上させる。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「英語の勉強は楽しい」の項目について、「あてはまる (どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を 75% 以上にする。 (施策 6 国際社会において生き抜く力の育成)</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の児童アンケートにおける「普段の体育の授業の目標設定とふり返り」の 2 項目について、大阪市平均を上回る。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p> <p>○平成 29 年度末の児童アンケートにおける「給食・手洗い」の 2 項目について、「あてはまる (どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を 75% 以上にする。 (施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○ 習熟度別少人数学習の有効活用や「さんさんタイム」実施・ICTの活用などにより、基礎的・基本的な学習内容の定着にむけた取組を行う。	指標○ ICT機器を活用する場面を週1回以上設定する。 ○ 各学年、各学級の実態に応じた「さんさんタイム」を週1回以上継続して行う。	B
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○ 言語活動を充実させ、意見交流を活性化させるための指導方法や指導材の工夫を行う。	指標 各学年、年間1回以上の公開授業、討議会を通して授業内容の改善を図り、成果は紀要にまとめる。	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○ 図書館の集団貸出を利用したり、学校図書館・学級文庫を整備したりし、授業に活用する。	指標 図書館の集団貸出を利用したり、学校図書館・学級文庫を授業で活用したりする機会を年間2回以上設ける。	B
取組内容④【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ○ さまざまな部会を通して研究を深め、分かりやすい授業の創造を目指す。	指標○ 公開授業・討議会・実技研修会等を計画的に行う。 ○ 週1回以上ICT機器を活用した英語モジュールタイムを計画・実施していく。	
取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○ なわとびギネス・耐寒かけ足に加え、運動強化月間を設定し体力の向上を目指す。	指標 年3回の運動強化月間を中心に、なわとびギネス、耐寒かけ足も計画的に取り組む。	B
取組内容⑥【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○ 児童それぞれが自分の課題をもって体育の授業に取り組めるようにする。	指標 毎時間の体育の授業で目標設定とふり返りの時間を確保する。	
取組内容⑦【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○給食週間や栄養指導等を通じて食への関心を高める。 ○手洗い重点週間を設けるなど手洗い指導を実践し、健康への関心を高める。	指標○ 各クラスの年1回以上の栄養指導や、給食委員会で給食を残さず食べることをよびかける取り組みをするなど、活動を工夫する。 ○ 健康委員会による毎週の健康チェックや、年3回の重点週間を実施し、手洗いを意識づける。	B
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の中間結果と分析		
<ul style="list-style-type: none">・ モジュールタイムだけでなく、教科学習でもICT機器の活用場面は広がっている。さんさんタイムについては、各学年で取り組んでいるが、学年で統一できていないところもある。学力向上への取り組みとしては、年間計画に沿って授業研究や討議会・研修会を行い、意見交流の活性化に向けて指導の改善を行ってきている。また、国語科を中心に図書館・学校図書館等をすでに各学年共2回以上授業で活用し、着実に図書の活用が図られている。・ 体育科の授業でふり返りカードを作って目標設定とふり返りを行うなど、学年の発達段階に応じた取り組みを行っている。栄養指導、学級指導を通して給食の残食が減ったり、健康委員会の活動の工夫を通して手洗いへの意識が高まったりするなど、学校全体で健康に関する取り組みの成果がみられる。		
下半期への改善点		
<ul style="list-style-type: none">・ ICT機器の活用について、さらに活用場面が広がるよう係を中心に情報交換の場を設ける。さんさんタイムの内容を学年で共通理解したり、意見交流の活性化を国語科以外の教科にも広げたりできるよう指導改善を図っていく。・ 給食週間、手洗い重点週間、運動強化月間の内容を計画的にすすめていく。		